

代表質問

代表質問とは

新年度予算が提案される3月議会において、所属議員3人以上の会派の代表者が行います。

代表質問では、施政方針、当初予算および市政の重要課題に関して、市の見解を問います。

会派名簿

自民党 真誠会

石井 宏法
井藤 圭順
灰野 修平
林 本太
榎 住夫
千 好介
三 原宏
種 原人
辰 巳司
坂 口男

公明党

国出 拓志
飯田 伸子
尾倉 あき
佐々木 久美
松 井田 宏希

明石かがやきネット

竹内 子美
林 丸夫
吉 田 秀夫

日本共産党

楠本 美紀
辻本 達也

みんなで弱者を守る会

北川 貴則
森 勝子

未来明石大路

大西 洋紀
出雲 晶三

スマイル会

家根 敦子

フォーラム明石

宮坂 祐太

かけはし SDGs

丸谷 聡子

リーベの会

寺井 吉広

(会派別・議席順/3月24日現在)

自民党 真誠会 三好 宏議員

令和5年度当初予算

問 令和5年度当初予算について、両副市長と政策局長から、政治家を引退する泉市長は予算編成にかかわらず、必要最低限の骨格予算にすると説明があった。しかし、実際は議会で議論もしていない新規事業等を含む予算が編成されている。新年度予算編成に対する市長の真意を問う。



新年度予算に対する市長の真意は

○その他の項目
令和5年度実施予定の主な取組

答 全国的に人口減少や少子高齢化が進む中、市民目線のまちづくりとして、こどもを核としたまちづくり、誰にもやさしいまちづくりを重点的に推進することにより、市民に安心が生まれ、子育て世代を中心に流入が増え、人口が10年連続で増加している。

けでなく、まちのにぎわいや税収の増加をもたらすとともに、さらなる施策の展開へとつながり、明石のまちの魅力は、より一層向上している。昨年10月に退任を表明した後、これまでの明石のまちづくりの継続を望む声を聴いている。そのため、市民に寄り添った明石のまちづくりがこれまでどおり継続され、一層推進するために必要と思われる予算案を提案した。

明石かがやきネット 林 丸美議員

西明石地区活性化に向けた取組

問 西明石地区の活性化への取り組み状況を問う。

答 本市は、西明石地区の活性化に向け、エリア全体を視野に入れ、JR西日本と共同で取り組みを進めている。まずは第1弾として駅南側にバリアフリー対応の新改札口の整備を進め、第2弾として旧国



人とつながる交流の場へ

○その他の項目
子どもの発達、教育への支援

答

大久保駅のホームの幅は狭

令和5年度予算とその補足

公明党 梅田 宏希議員

問 市内のホームドア整備は、令和2年供用開始のJR明石駅3・4番線をはじめ、西明石駅5・6番線は5年度中、明石駅1・2番線は7年度中の供用開始に向け、事業が進められている。大久保駅の安全対策も必要と考えるが、市の認識を問う。



市内駅へのホームドア設置を要望

く、通勤時間帯やダイヤが乱れた場合などは、混雑し危険である。このため、安全対策として、平成29年度に市が事業費の一部を補助し実施した内方線付き点状ブロックの整備や、JR西日本が列車の接近を知らせる発車標の設置などに取り組んでいる。

○その他の項目
令和5年度施政方針の真意